

「一票の較差是正」と「議員定数(242)の削減」 の二方針を両立させる場合に考えられる 参議院議員選挙制度改革案の4類型

参議院議員 辻 泰弘

1. 選挙区制、比例代表制をともに廃止し、全国をブロックに分ける ブロック選挙区制とする案

〈石井議員案(定数 200)〉 (最大較差 1.19 倍)
〈西岡議長案(定数 242)〉 (最大較差 1.15 倍)

- ①ブロックごとの大選挙区制(個人名投票)
- ②ブロックごとの拘束名簿式比例代表制(政党名投票)
- ③ブロックごとの非拘束名簿式比例代表制(政党名・個人名投票)

2. 選挙区制を廃止し、全国を1つの選挙区とする案

(較差なし)

- ①全国一本の大選挙区制(個人名投票)
- ②全国一本の拘束名簿式比例代表制(政党名投票)
- ③全国一本の非拘束名簿式比例代表制(政党名・個人名投票)

3. 比例代表制を廃止し、選挙区制のみとする案(定数 202 ← 40 削減)

〈試算結果=次頁〉
(最大較差 2.59 倍)

* 定数削減数が 40 以下の場合には、最大較差はより低位に収まる。

4. 選挙区制、比例代表制を存続する案

選挙区について、各都道府県定数の最低2の原則に変更を加え、有権者数の少ない選挙区を隣接選挙区と合区して定数2としつつ、較差の是正をはかるとともに、定数削減を行う。

【具体例】

選挙区について、6選挙区を合区して3選挙区としつつ、現行定数を10削減する場合(比例代表の定数も10削減)

〈試算結果=次々頁〉
(最大較差 3.08 倍)

上記の例の他、前提とした選挙区の定数削減を増減するケース、合区対象選挙区を増減するケースなどが考えられる。

※ 試算は、平成22年参議院議員通常選挙当日有権者数に基づいて行ったものであり、平成22年の国勢調査の結果によっては試算の結果が変動する可能性を有している。(速報値は2月25日公表)

比例代表制を廃止し、選挙区(定数202)のみとする案
(各選挙区に2を割り振り、残余の定数を較差が極小化するように配分)

選挙区	定数		平成22年参議院議員通常選挙当日有権者数(人)	議員一人当たりの有権者数(人)	最小選挙区との較差(倍)
	現行(人)	再配分後(人)			
東京都	10	18	10,620,508	590,028	2.429
神奈川県	6	12	7,294,561	607,880	2.502
大阪府	6	12	7,089,288	590,774	2.432
愛知県	6	10	5,829,921	582,992	2.400
埼玉県	6	10	5,814,689	581,469	2.393
千葉県	6	8	5,045,486	630,686	2.596
北海道	4	8	4,604,561	575,570	2.369
兵庫県	4	8	4,542,923	567,865	2.337
福岡県	4	8	4,094,102	511,763	2.106
静岡県	4	6	3,076,711	512,785	2.111
茨城県	4	4	2,425,880	606,470	2.496
広島県	4	4	2,326,269	581,567	2.394
京都府	4	4	2,098,897	524,724	2.160
新潟県	4	4	1,968,798	492,200	2.026
宮城県	4	4	1,908,319	477,080	1.964
長野県	4	4	1,758,294	439,574	1.809
岐阜県	4	4	1,688,224	422,056	1.737
福島県	4	4	1,659,432	414,858	1.708
栃木県	2	4	1,630,549	407,637	1.678
群馬県	2	4	1,627,796	406,949	1.675
岡山県	2	4	1,577,416	394,354	1.623
三重県	2	4	1,503,886	375,972	1.547
熊本県	2	4	1,488,495	372,124	1.532
鹿児島県	2	4	1,400,358	350,090	1.441
山口県	2	2	1,208,999	604,500	2.488
愛媛県	2	2	1,197,915	598,958	2.465
長崎県	2	2	1,177,396	588,698	2.423
青森県	2	2	1,159,140	579,570	2.385
奈良県	2	2	1,154,020	577,010	2.375
岩手県	2	2	1,109,235	554,618	2.283
滋賀県	2	2	1,106,114	553,057	2.276
沖縄県	2	2	1,073,963	536,982	2.210
大分県	2	2	990,648	495,324	2.039
山形県	2	2	966,232	483,116	1.988
石川県	2	2	944,297	472,149	1.943
宮崎県	2	2	933,881	466,941	1.922
秋田県	2	2	927,048	463,524	1.908
富山県	2	2	903,328	451,664	1.859
和歌山県	2	2	848,458	424,229	1.746
香川県	2	2	829,698	414,849	1.708
山梨県	2	2	702,067	351,034	1.445
佐賀県	2	2	688,271	344,136	1.416
徳島県	2	2	658,828	329,414	1.356
福井県	2	2	653,503	326,752	1.345
高知県	2	2	640,959	320,480	1.319
島根県	2	2	593,860	296,930	1.222
鳥取県	2	2	485,912	242,956	1.000
合計	146	202	104,029,135		

6選挙区を合区し、選挙区の定数を10削減した上で、較差が可能な限り小さくなるよう各選挙区に定数を配分した場合(比例代表の定数も10削減)

選挙区	定数		平成22年参議院議員通常選挙当日有権者数(人)	議員一人当たりの有権者数(人)	最小選挙区との較差(倍)
	現行(人)	再配分後(人)			
東京都	10	10	10,620,508	1,062,051	3.086
神奈川県	6	8	7,294,561	911,820	2.650
大阪府	6	8	7,089,288	886,161	2.575
愛知県	6	6	5,829,921	971,654	2.823
埼玉県	6	6	5,814,689	969,115	2.816
千葉県	6	6	5,045,486	840,914	2.444
北海道	4	6	4,604,561	767,427	2.230
兵庫県	4	6	4,542,923	757,154	2.200
福岡県	4	4	4,094,102	1,023,526	2.974
静岡県	4	4	3,076,711	769,178	2.235
茨城県	4	4	2,425,880	606,470	1.762
広島県	4	4	2,326,269	581,567	1.690
京都府	4	2	2,098,897	1,049,449	3.050
新潟県	4	2	1,968,798	984,399	2.860
宮城県	4	2	1,908,319	954,160	2.773
長野県	4	2	1,758,294	879,147	2.555
岐阜県	4	2	1,688,224	844,112	2.453
福島県	4	2	1,659,432	829,716	2.411
栃木県	2	2	1,630,549	815,275	2.369
群馬県	2	2	1,627,796	813,898	2.365
石川県・福井県	(4)	2	1,597,800	798,900	2.321
岡山県	2	2	1,577,416	788,708	2.292
三重県	2	2	1,503,886	751,943	2.185
熊本県	2	2	1,488,495	744,248	2.163
鹿児島県	2	2	1,400,358	700,179	2.035
徳島県・高知県	(4)	2	1,299,787	649,894	1.888
山口県	2	2	1,208,999	604,500	1.757
愛媛県	2	2	1,197,915	598,958	1.740
長崎県	2	2	1,177,396	588,698	1.711
青森県	2	2	1,159,140	579,570	1.684
奈良県	2	2	1,154,020	577,010	1.677
岩手県	2	2	1,109,235	554,618	1.612
滋賀県	2	2	1,106,114	553,057	1.607
島根県・鳥取県	(4)	2	1,079,772	539,886	1.569
沖縄県	2	2	1,073,963	536,982	1.560
大分県	2	2	990,648	495,324	1.439
山形県	2	2	966,232	483,116	1.404
宮崎県	2	2	933,881	466,941	1.357
秋田県	2	2	927,048	463,524	1.347
富山県	2	2	903,328	451,664	1.312
和歌山県	2	2	848,458	424,229	1.233
香川県	2	2	829,698	414,849	1.205
山梨県	2	2	702,067	351,034	1.020
佐賀県	2	2	688,271	344,136	1.000
合計	146	136	104,029,135		